

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福井工業大学附属福井高等学校（※正式名称を記載）
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
所在地 〒 910-0021 福井県福井市学園3丁目6番1号
E-mail kouhou-h@fukui-ut-fukui-h.ed.jp
Website http://www.fukui-ut-fukui-h.ed.jp
幼児児童生徒数 男子 924名 女子 581名 合計 1505名
幼児・児童・生徒の年齢 15～18歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「建学の精神」を学校理念（※もしくは活動テーマ）として、ESDを教科外での学習力の向上の機会と捉え、ESDの実践を通して生徒の自主性をの育成を目標とした。

具体的には、学校行事、国際交流、地域貢献（交流）を柱に、①国際理解に係わる活動、②地域の伝統文化に係わる教育、③平和教育とボランティアに係わる学習を行った。

① 国際理解に係わる活動

オーストラリア交換留学報告会(7月10日(月))

今回、「受入」は実施されなかったため、「派遣生」として海外留学に参加した生徒による報告会を開催した。この報告会は、国際交流への関心を高め、オーストラリアの文化等の理解を深めること、また、それぞれの姉妹校との交流に対する興味、関心を高め、今後の交換留学への参加やホームステイの受け入れを促すことを目指している。

オーストラリア交換留学(10月24日(火)～11月2日(木))

10日間、Sacred Heart Collegeの生徒宅にホームステイし、バディと授業を受けた。また、滞在中に、もう1校の姉妹校のMater Dei Collegeの生徒との交流も行った。本校とSacred Heart College(オーストラリア パース市)との交換留学は今年で14回目となり、今年度は高校生16名、中学生4名の計20名が参加した。

さくらサイエンス(11月12日(日)～11月18日(土))

本校の姉妹校であるタイのワット・ラジャ・オ・ロス校とプルークパンヤ校より計10名の高校生を招き、1週間、「自動車における日本の最先端ものづくり技術」をメインテーマとし、主に本校機械システム分野で取り組んでいる課題研究のテーマの一つである「ミニチュアF1 模型の企画・研究・設計・制作」での一連の作業を体験してもらった。また、ジェイ・バス株式会社(石川県小松市)を見学、F1模型のデザインの体験後、F1模型の走行会を行った。その後、歓迎会では本校留学生、大学留学生等も参加し、タイの伝統的な踊りを披露してもらった。

オーストラリア修学旅行(2月17日(土)~2月21日(水))

特別進学科・進学コースI類、および希望者が、オーストラリアへの修学旅行に参加した。そこでは本校の姉妹校である Mater Dei College 高校・Sacred Heart College 高校を訪問した。姉妹校訪問では、パディから、プレゼンテーション・施設案内などを受けた。

台湾僑泰高校訪問(3月2日(金))

台湾・私立僑泰(チオタイ)高級中学(高校)の生徒73名と教員等9名、全82名を招き、本校生徒との交流を行った。歓迎セレモニーの後、当日行われたひなまつりにも参加した。午後からは、4つのグループに分かれ、本校の授業に参加し、生徒との交流を図りつた。英語の授業では、特別進学科2年生の生徒がパワーポイントを利用して、福井についての紹介をし、デザインの授業では、折鶴およびデッサン体験をした。家庭科の調理実習では、炊き込みご飯やかきたま汁、ほうれん草の胡麻和え等、日本の家庭で親しまれているだし昆布や鰹節・醤油の味を堪能し、ものづくりの授業においては、F1 in Schools のミニチュアカー作りやレース体験を行った。

②地域の伝統文化に係わる活動

七夕フェスティバル(7月7日(金))

本校の伝統行事でもある七夕フェスティバルを開催した。クラスごとの竹に短冊やオリジナルのアイデアで華やかな飾り付けをした。また、社中央第一・第二こども園の園児の皆さんや福井特別支援学校の生徒の皆さんにも参加していただき、七夕にちなんだクイズ大会を行った。

寒稽古(1月10日(水)~1月13日(金))

早朝より、金井学園体育館にて全校生徒が集まり、寒稽古を実施した。この行事は、大寒の厳しい環境の中で、身体の鍛錬を通し、不屈の意志・克己心・忍耐力ならびに、日本の伝統的な生活態度を養い、学園の教育の特色としての「節義を重んじる人格の育成」に資することを目的に、本校の伝統行事として行っている。本校の寒稽古は、柔道、剣道、縄跳びの3種目であり、午前・午後の部に分かれ、3日間に渡り行われた。

ひなまつり(3月2日(金))

本校の伝統行事である、「心の教育」の推進事業として、ひなまつりを行った。ひなまつりには、社中央第一・二こども園と福井特別支援学校、当日来校された台湾の僑泰高級中学(高校)を招き、生徒会によるひなまつりにちなんだ〇×クイズや各クラブの発表、園児の皆様による合唱、台湾の生徒によるダンスが披露された。

③平和教育・ボランティアに係わる学習

修学旅行(2月17日(土)~2月21日(水))

平和祈念公園で、平和祈念像・長崎の鐘・平和の泉などの説明をガイドさんにしていただいた。その後、爆心地を通過して原爆資料館へ行った。また、知覧特攻平和会館では、ガイドさんの講話を聞いたり、生徒と同じくらいの年齢である少年飛行兵の方々の遺書などを実際に読んだりして、命の尊さ、家族愛について深く学んだ。

平成29年7月九州豪雨における募金活動(7月13日(木)~7月19日(水))

生徒会を中心とする有志による平成29年7月九州北部豪雨における募金活動を、高校正門前やハーツ学園店などで行った。集まりました義援金76,800円を、日本赤十字社福井県支部へ届けた。

① オーストラリア交換留学



① さくらサイエンス



① オーストラリア修学旅行



① 台湾僑泰高校訪問



② セタフェスティバル



② 寒稽古



③ ひなまつり



② 修学旅行・平和公園



③ 修学旅行・知覧特攻平和会館



③ 募金活動



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

本校 A L T が作成した教科書

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年間を通して、各学校行事に国際理解、伝統文化、平和教育等の内容を取り入れ、各行事の準備の中で総合的な学習の時間等を利用し、生徒が中心となり、企画、運営を行った。その中で、各教科の教員による横断的に指導を心掛け、コミュニケーション能力や、他社と協力する態度、進んで参加する態度の育成に努めた。また、本校留学生や地域の人々とうの交流などを積極的に行った。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学内に、教員によるユネスコスクール推進委員会を設置し、年間の指導計画を定め、活動をしている。また、各行事に、生徒による実行委員会を組織し、生徒が中心となり企画運営を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学内において、保護者、生徒を対象とした学校評価アンケートを前期末、後期末の年2回実施し、そのアンケート内で、学校行事やユネスコスクールの取り組みについて評価を行った。その結果、年々保護者の関心も高まり、生徒も積極的に取り組む姿勢が見られるようになった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

各行事や、活動などの内容を学校ホームページに掲載し、ツイッターやインスタグラムなど SNS を利用した発信を行った。活動成果を発信することにより、生徒の意欲も高まった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

各行事には地域の幼稚園児などを招待し、街頭での募金活動、地域清掃への参加など、地域コミュニティとの交流を積極的に行った。併設の福井工業大学と連携し、留学生同士のコミュニケーションを図った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現時点では、実施できていないが、今後海外姉妹校を提携していく中で、ユネスコスクールとのネットワークを形成していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

各行事に生徒が積極的に参加するようになった。また、自主的に新しい企画のアイデアが多く出るようになった。教員には、教科横断的な指導の意識が芽生えたように思われる。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

4月 留学生歓迎レセプション
4月 オーストラリア交換留学生来校
6月 ふくいユネスコチャリティ茶会
7月 セタフェスティバル
10月 オーストラリア交換留学
12月 ユネスコスクール全国大会
1月 寒稽古
2月 修学旅行（オーストラリア・九州）
3月 ひなまつり
3月 清掃ボランティア